

## 「下関バイオマス発電所」 九電グループ3社が開発・運営を一貫実施する 国内最大級のバイオマス発電

当社が発電所の運営全般、西日本プラント工業(株)が設備の建設・保守、九電産業(株)が運転を担当するなど、九電グループが初めて調査・建設、運転・管理までを一貫して手掛ける大型バイオマス発電事業です。

また、木質バイオマス専焼としては国内最大級で、九電グループ単独としては九州域外最大の発電所となります。(※運転開始時点)

年間を通じてベトナムやカナダから発電所の主燃料である木質ペレットを積載した燃料輸送船が下関港に入港するため、港湾の有効利用をはじめ、荷役・陸上運搬作業を地元企業に委託することで地元の雇用創出、経済活性化に貢献しています。



【設備容量】	74,980kW
【所在地】	山口県下関市
【運転開始】	2022年2月
【使用燃料】	木質ペレット
【事業会社】	下関バイオマスエナジー(同) [九電みらいエナジー(株)85%出資]
【事業パートナー】	西日本プラント工業(株)、九電産業(株)